

平成 28 年度

駒ヶ根市普通会計・公営企業会計
財政健全化審査及び経営健全化審査意見書

駒ヶ根市監査委員

目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の場所	1
第4	審査の方法	1
第5	審査の結果	1
	普通会計財政健全化審査意見書	2
1	審査の概況	2
2	審査の結果	2
	水道事業会計経営健全化審査意見書	4
1	審査の概況	4
2	審査の結果	4
	公共下水道事業会計経営健全化審査意見書	5
1	審査の概況	5
2	審査の結果	5

- (注) 1 文中及び各表中に表示する千円単位の数値は、原則として単位未満を四捨五入した。
- 2 比率(%)は、原則として小数点以下第二位を四捨五入した。
- 3 ポイントとは百分率(%)間の単純差引数値である。

平成28年度駒ヶ根市普通会計・公営企業会計財政健全化及び経営健全化
審査意見

第1 審査の対象

平成28年度 駒ヶ根市普通会計健全化判断比率
平成28年度 駒ヶ根市水道事業会計資金不足比率
平成28年度 駒ヶ根市公共下水道事業会計資金不足比率

第2 審査の期間

平成29年7月26日

第3 審査の場所

駒ヶ根市役所 第5会議室

第4 審査の方法

審査に当たっては、各会計の健全化判断比率及び経営健全化判断比率が関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるかについて、証書類及び関係諸帳簿と照合するとともに関係職員からの説明を聴取し審査した。

第5 審査の結果

審査に付された各会計の健全化判断比率及び経営健全化判断比率を示す書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認められた。

平成28年度 普通会計財政健全化審査意見書

1 審査の概要

この財政健全化審査は、市長から提出された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

2 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された下記、健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

記

健全化判断比率	平成28年度	早期健全化基準	備考
① 実質赤字比率	— %	13.53 %	
② 連結実質赤字比率	— %	18.53 %	
③ 実質公債費比率	14.2 %	25.0 %	比率は暫定値
④ 将来負担比率	191.8 %	350.0 %	同上

(2) 個別意見

① 実質赤字比率について

平成28年度の普通会計の実質収支額は、305,858千円となっており、実質赤字の標準財政規模に対する比率は、-3.41%であり赤字となっていない。

② 連結実質赤字比率について

平成28年度の全会計を対象とした実質収支額は、1,623,307千円となっており、全会計を対象とした連結実質赤字の標準財政規模に対する比率は、-18.11%であり赤字となっていない。

③ 実質公債費比率

平成28年度の実質公債費比率は14.2%（前年度14.6%）となっており、早期健全化基準の25.0%と比較すると、これを下回っている。

④ 将来負担比率について

一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率であるが、平成28年度の将来負担比率は191.8%（前年度168.7%）となっており、早期健全化基準の350.0%と比較すると、これを下回っている。

(3) 是正改善を要する事項

実質公債費比率は、前年度と比較して0.4ポイント改善の14.2%となっており、4年連続で改善している点で評価ができ、法に定める早期健全化基準に照らしてもこれを下回っている。しかし、他団体と単純に数値の比較をすれば未だ高水準といえるため、引き続き留意が必要である。

また、将来負担比率は、平成24年度189.1%から平成27年度168.7%まで毎年改善が見られていたが、平成28年度は前年度と比較して23.1ポイント悪化の191.8%であった。これは、第3セクター等改革推進事業により、3セク債として2,254,000千円増加したこと及び公共下水道事業会計の繰出し見込額が、繰出し割合の変更によって622,640千円増加したことなどによるものである。

将来を見越して発行した3セク債により、債務保証から地方債へと変わり、市が抱える債務が明確になった。また、今後における債務償還の目標値が見える化されたことは評価できる。

しかし、今年度の191.8%の比率は、全国・長野県ともにワースト上位にあることが公表された時、市民も改めて不安を抱くことが予想される。将来の見通しもすでに市報等で報じられているところであるが、再度市報等で将来にかけての債務償還と、より安定した財政健全化への道筋を丁寧かつ分かりやすく説明をすることが必要である。

また、統一的な基準による地方公会計の整備が進められている中で、固定資産台帳の整備などによる資産評価の影響で数値が変動し、比率に影響が出ることも予想される。できる限り精度の高い数値の算出努力を願うとともに、修正が生じた際には適宜公表し、理解しやすく見える化した上で、市民と行政が一体となって市の財政健全化を目指す高い意識を共有することが必要であると考えます。

今後も、長期的な経営予測を明確にして、更なる慎重な対応を望むものである。また、事業の実施にあたっては、第4次総合計画の基本構想と基本計画をベースとした、達成可能で現実的な実施計画に基づいて、進捗度・達成度を検証のうえ、着実な成果を期待したい。

平成28年度 水道事業会計経営健全化審査意見書

1 審査の概要

この経営健全化審査は、市長から提出された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

2 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された下記、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

記

比率名	平成28年度	経営健全化基準	備考
① 資金不足比率	(%) —	(%) 20.0	

(2) 個別意見

① 資金不足比率について

「営業収益 - 受託工事収益」を分母として、「(流動負債 + 建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高 - 流動資産) - 解消可能資金不足額」を分子として除した数値は -89.1%であり資金不足とはなっていない。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。

平成28年度 公共下水道事業会計経営健全化審査意見書

1 審査の概要

この経営健全化審査は、市長から提出された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

2 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された下記、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

記

比率名	平成28年度	経営健全化基準	備考
① 資金不足比率	(%) —	(%) 20.0	

(2) 個別意見

① 資金不足比率について

「営業収益 - 受託工事収益」を分母として、「(流動負債 + 建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高 - 流動資産) - 解消可能資金不足額」を分子として除した数値は -154.2%であり資金不足とはなっていない。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。